



◎道路功績者表彰規程の制定

道路功績者の表彰は本會として夙に其の緊要なるを認め部分的に之を施行したるが本年六月三十日開會の理事會に於て其の規程を制定し特に本年四月一日より施行することとなつた、其の規程竝に水野會長より地方長官への依頼文は左の如し。

道路功績者表彰規程

第一條 道路愛護會、道路工夫及其ノ他ノ團體又ハ個人ニシテ道路ノ改良、維持修繕等ニ關シ功績アリタル者ハ

本規程ニ依リ之ヲ表彰ス

第二條 表彰ハ地方長官ニ於テ表彰シ又ハ表彰セントスル

者ニ付當該長官ヨリ本會ニ推薦アリタル場合ニ於テ審査ノ上之ヲ行フモノトス

第三條 被表彰者ニハ表彰狀ヲ贈與ス

第四條 被表彰者タル道路工夫其ノ他ノ個人ニ對シテハ表彰狀ノ外左ノ區別ニ依リ功績章及賞杯ヲ贈與ス
道路工夫 二十年以上勤績シ成績優秀ナル者

一等功績章及木杯一組

十年以上勤績シ成績優秀ナル者

二等功績章及木杯一個

個人 木杯一組又ハ一個

第五條 功績特ニ顯著ナル者ニハ特別賞ヲ附與スルコトアルヘシ

第六條 表彰ハ地方長官ノ行フ表彰式ニ本會役員參列シ又ハ地方長官ニ依囑シ之ヲ行フ

附 則

第七條 本規程ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ適用ス

北海道廳長官宛
各府縣知事宛

會長名

◎評議員會並定期會員總會

道路功績者表彰ニ關シテ

道路ノ改良又ハ維持修繕ニ關シテ功績顯著ナル團體、個人又ハ道路工夫ニシテ貴官ニ於テ表彰セラルルモノアル場合ハ本會ニ於テモ之ヲ表彰シ聊カ我國道路改良事業ノ振興ニ寄與致度別紙ノ通之ニ關スル規程ヲ制定シ本年四月一日ヨリ實施スルコトト致候ニ付テハ今後右規程ニ依ル表彰ヲ希望セラルルモノアリタル場合ハ被表彰者ニ就キ各別ニ左記要項ヲ具備シタル推薦書ヲ作製シ表彰式舉行ノ三十日前迄ニ御申越相煩度此段及御依頼候也

記

一、住所、氏名、職業、生年月日（團體ニ在リテハ團體名

組織ノ概要、沿革）

二、功績顯著ナリトスル事績

三、地方長官ノ表彰式舉行日時

四、其ノ他必要ナル事項

以上

本會評議員會並第十八回定期會員總會は七月十五日午後三時、丸ノ内日本俱樂部に於て開催、定刻に到り水野會長議長席に就き、慣例に依り評議員會と會員總會とを併せ開會する旨を宣して開會、昭和十一年度事務報告、昭和十一年度一般會計及特別會計報告を承認し次に昭和十二年度一般別途會計歲入出豫算を承認した。

次で議長は評議員會に左記諸氏を特別會員に推薦の件を附議し可決す。

赤松 小寅氏

阿部 邦一氏

長谷川 勝伍氏

塚田 政氏

山田 新十郎氏

鈴木 清秀氏

議長は評議員任期満了に付選舉を行ふの旨を總會に付議

したるに選舉を省略し議長の指名に一任することに決す、
仍て議長は左の通指名した。

池田成彬氏、池田宏氏、石渡敏一氏、伊藤武彦氏、飯沼
一省氏、原田貞介氏、長谷川久一氏、林博太郎氏、鳩山
一郎氏、橋本圭三郎氏、八田嘉明氏、丹羽鋤彦氏、丹羽
武朝氏、堀切善次郎氏、土岐嘉平氏、大橋新太郎氏、大
森吉五郎氏、岡崎久次郎氏、岡部昇氏、織田昇次郎氏、
大口喜六氏、大西一郎氏、岡正雄氏、大岩勇夫氏、和田
龜治氏、渡邊勝三郎氏、渡邊鐵藏氏、川崎八右衛門氏、
門野重九郎氏、各務鎌吉氏、金杉英五郎氏、各務幸一郎
氏、河田烈氏、加藤桑四郎氏、寛正太郎氏、加賀山學氏
榎木寛之氏、勝田銀次郎氏、吉田丹次郎氏、田中廣太郎
氏、谷口三郎氏、相馬半治氏、津村重舎氏、次田大三郎
氏、塚田政氏、根津嘉一郎氏、内藤久寛氏、西野元氏、
堀越角次郎氏、中島彌團次氏、中川正左氏、長岡隆一郎
氏、直木倫太郎氏、中川吉造氏、中野金次郎氏、永田秀
次郎氏、村井二郎吉氏、潮惠之輔氏、牛塚虎太郎氏、串

田萬藏氏、久保田敬一氏、黒河内四郎氏、山下龜三郎氏
山田英太郎氏、山田乙三氏、山田博愛氏、山田新十郎氏
矢野恒太氏、松木幹一郎氏、増田義一氏、前田利定氏、
前田穰氏、松岡均平氏、牧彦七氏、松本學氏、前川貫一
氏、藤山雷太氏、古川虎之助氏、福澤桃介氏、藤原俊雄
氏、郷誠之助氏、小橋一太氏、近新三郎氏、小山谷藏氏
香坂昌康氏、有賀長文氏、赤星陸治氏、青木周三氏、明
石照男氏。淺野總一郎氏、青山士氏、佐上信一氏、桐島
像一氏、結城豊太郎氏、湯淺倉平氏、水野鍊太郎氏、宮
崎通之助氏、三邊長治氏、白石元治郎氏、篠原英太郎氏
鳥重治氏、清水良策氏、柴田善三郎氏、土方久徵氏、廣
瀬久忠氏、物部長穂氏、森村市左衛門氏、杉浦宗三郎氏
鈴木梅四郎氏、末松偕一郎氏、赤松小寅氏、松方五郎氏
鈴木清秀氏。

議長は評議員會に理事監事の互選を行ふ旨を付議す。選
舉を省略し議長指名に一任すと決す、仍て議長は左の通指
名す。

理事に

水野鍊太郎氏、橋本圭三郎氏、赤松小寅氏、山田英太郎氏、中川正左氏、松木幹一郎氏、桐島像一氏、長岡隆一郎氏、牧彦七氏、佐上信一氏、廣瀬久忠氏、笈正太郎氏、中川吉造氏、谷口三郎氏、青山士氏、鈴木清秀氏、山田新十郎氏、辰馬鎌藏氏、佐藤利恭氏。

監事に

大橋新太郎氏、西野元氏。

を指名した。議長は之れにて評議委員會並會員總會を終了したる旨を宣し、酷暑の砌出席せられたる各位に感謝の意を表すと挨拶せられ閉會す。

◎第八回國際道路會議報告書作製委員會

第五部委員會

第五部委員會は六月十七日午後五時五十分より丸ノ内帝國鐵道協會に於て開催、金森委員長、小澤主査、島田、杉浦、伊藤、富樫、大岡、堀、金子、三好の各委員、出席、

金森委員長開會の挨拶後、先づ伊藤委員反射率に對する提出資料の説明を行ひ、次に島田委員の反射率及滑り度に對する提出資料の説明に入り、終つて小澤主査の滑り度の標準を決めることに就ての意見開陳あり、次回は今回の提出資料を總合取纏めの上再審議することに決定午後九時散會。

第四部委員會

第二調査部第四部委員會は昭和十二年六月二十二日午後一時より内務省第四會議室に於て開催、菊池主査、末松、磯谷、松井、豊原(代理竹下警視廳交通係長)星野、坪田、藤澤の各委員出席、各委員分擔事項の調査研究狀況を報告し、報告書案を至急作製し、全體委員會を開いて、審議することを申合せ、午後四時散會。

第五部委員會

第二調査部第五部委員會は昭和十二年七月二日午後五時より鐵道協會に於て開催、金森委員長、小澤主査、島田、伊藤(大ニ)、杉浦の各委員出席、パリ事務局へ提出の報告

書等に就て慎重審議し、午後八時散會。

第三部委員會

第二調査部第三部委員會は昭和十二年七月七日午後一時より内務省第四會議室に於て開催、金子委員長、鈴木主査、武若、館林、細田、谷口、町田、豊原、堀、酒井、二宮、前澤、三宅、三橋の各委員出席、鈴木主査の作製せる報告書案に就て詳細に審議し、パリ事務局へ提出の報告書は委員長に委任することに決定し、午後九時散會。

第六部委員會

第二調査部第六部委員會は昭和十二年七月十六日午後五時より鐵道協會に於て開催、山田委員長、藤森主査、松村金子、野坂、折坂、永井、船山、深田の各委員出席、藤森主査の作製せる報告書案並にパリ事務局へ提出の報告書に就て慎重審議し、午後八時散會。

◎緊急地方長官會議

北支事件急迫を告ぐるに至つたので七月十五日緊急地方

長官會議が開かれた、午前は内閣總理大臣官邸に於て開會、近衛首相の訓示を馬場内相に依つて代讀された其要旨は、
「今回の北支方面に對する派兵の趣旨は先般の政府の聲明により既に諸君の御承知の通りである。事件發生以來の平和的解決に關する我方の努力は全く水泡に歸せむとし、平津地方在留邦人の生命財産も危殆に瀕するに至つた、この儘に推移せむか、北支の治安は甚だしく擾亂され、延いては東亞全般の平和に暗影の投ぜらるゝ虞がある。帝國の眞意は斯る重大事態の發生を防止するに外ならぬのであつて、一日も早く支那の反省を求め、將來再び過般來の如き不法行爲なき様誠意ある保障を得て平和裡に問題を解決し度いと存する。諸君は今次派兵の大義名分を廣く各方面に徹底せしめ中央地方を通じ官民の協力を一層促進して眞に舉國一致の實を擧げる様努力せらるゝと共に、一方國民に對しては飽くまで大國民たるの襟度を持し靜平慎重以て時局に對處せしむる様配慮せられむことを希望する」と云ふに在つた。杉山陸相は支那の不信甚し、上下の協力は今日

に於て最も緊切なるを口演し、廣田外相は國論の統一を述べ、米内海相は海軍全幅の協力を致し在留民の生命財産並に帝國の權益擁護の萬全を期する旨を告げた、午後は内相官邸に集合、馬場内相より次の如き要旨の訓示が述べられ其夜は悉く任地に歸つた。

内相訓示要旨

今回の事變は見様に依り偶發的若くは突發的の現象の様にも思はれるが、斯る事變の起るべき動向は、既に十數年前よりその端を發して居ると申しても過言でない、國民黨は十數年前より終始排日抗日を以て一貫致して居つたと見るべきであつて、この教育方針が漸次支那國民の思想を支配し、殊に古くより教育を受けた者は、今日においては丁度國民の中堅層を組織し、時流を指導致して居るのである。

従つて今後の對支政策は支那をして或は支那國民をして此排日抗日毎日の根本に溯り徹底的に反省を促すといふことではなければならぬ、これなくしては日支の和平、

親善、延いては東洋平和の安定を期することは到底不能の問題ではないかと思ふ、今回の事變は、一の不幸なる出來事であり、決して喜ぶべき事象でないことは申すまでもない所であるが、これに對する我帝國の態度、方針、今後のやり方如何に依つては、或は俗に謂ふ禍を轉じて福と爲すの結果を招來することも、或は不可能ではないと考へる。

諸君は時局の重大性に顧み、即刻歸任せられ、今日午前中に各大臣の示された處に基き、政府の方針、國民の堅持すべき心構へ等に付十分に各地方に徹底せしむる様御努力を願ひ度い。

尙内務省關係の事項と致して例へば、動員徵發、治安維持、軍事扶助、防空、防疫、民心指導といふ様なことに付ては諸君は既に多年の御經驗を持たれて居らるゝ處であるから、私は諸君の手腕に信頼する。

◎内務省土木試験所談話會

去る七月中に開催したる土木試験所の相談會に於ての話題は次の通りである。

○第一五五回技術談話會話題

時日 昭和十二年七月九日(金) 午後二—四時

場所 本郷區駒込上富士前町二六 内務省土木試験所講堂

1. 最近架設せられたる國道並に府縣道橋の概況

豊田 松吉

2. 琵琶湖利用の一問題……………兵藤技師

3. 彈性結構の解法に就て……………田中教授

(東京、土木科)

○第一五六回技術談話會話題

時日 昭和十二年七月二十二日(木) 午後一—三時

場所 本郷區駒込上富士前町二六 内務省土木試験所講堂

1. 軟弱地盤の基礎工法に關する新考案に就て

(四十分) 藤森謙一

2. 路面の光反射試験結果に基く

道路燈明の基準に就て……………(三十分) 島田技師

3. 路線網設定に關する理論に就て

(二十分) 藤井技師

以上

附記

當談話會は八月中は休會します。

◎理事長岡隆一郎氏歸朝

曩日渡歐漫遊旅行せられ居つた長岡隆一郎氏卯江令夫人は海陸無事六月二十四日歸朝せられた。

◎都筑專任幹事退職

大正十年就任以來本會專任幹事として活動して居た都筑通督氏は本年七月末日限り退職した。

◎近刊の圖書雜誌

○土木建築工事畫報(一三卷六七號)

(鋼材節約問題特輯號)鋼材節約に就いての對策とコン

クリート工事、本邦鐵鋼事業の世界的地位、新宿青梅街

道架道橋擴築工事、十二年度上卷總目次

○觀光聯盟情報(一卷六七號)

○乘合自動車(一一卷六號)

○電氣通信學會雜誌(一七一號)

○三田學會雜誌(三一卷七號)

(武村忠雄氏) 統制經濟と景氣變動、氣賀健三氏) 自由主義の經濟政策)

○大阪商工會議所月報(三六二號)

(武田鼎一氏) 最效果的なる物價及金融對策、本邦鐵鋼業の需給現勢)

○鐵飢饉と土木建築(日本ポルトランドセメント同業會)

(鐵材を如何に節約すべきか)

○日立評論(二〇卷七號)

○港灣(一五卷七號總會號)

○都市問題(二五卷一號)

(竹中龍雄氏) 我國に於ける市營市街電車企業の成立と

其背景(上)

○大大阪(一三卷八號)

○セメント界彙報(三五二號)

○技術日本(七月號)

○國際觀光(五卷三號)

(歐洲大陸橫斷道路)

○土木學會誌(二三卷七號)

○法律時報(九卷七號)

○自警(七號)

○水利と土木(一〇卷七號)

○科學知識(七月)

○汎交通(七月號)

(航空機發達の趨勢、オリムピック東京大會と交通)